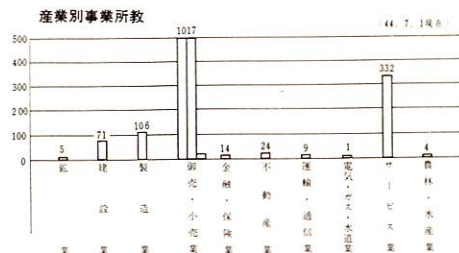


## ■ 経済

増加する人口、町の都市化に伴い商業の発達は目ざましく、かつての基地経済に依存する姿から完全に脱皮し、近隣市町村の顧客を吸収するまでに発達しました。一方、農地は減少の一途をたどり農業生産高は減少し農業経営の近代化と耕地の高度利用が要求されております。また、武蔵野台工業地区には、つぎつぎと新しい工場が進出し、生産のひびきが鳴りわたっています。



農地は減少



区分	農地面積
昭和42年	2 3 7 . 4 ha
昭和43年	2 3 4 . 4 ha
昭和44年	2 1 2 . 7 ha



にぎわう商店街



18社が進出、生産の響きに明ける  
武蔵野台工業地区